

月例統計報告（平成29年10月）

平成29年11月6日
企画振興部

1 秋田県の人口（秋田県の人口と世帯（月報）（平成29年10月1日現在）） 1

本県の総人口は、995,374人（男 467,657人 女 527,717人）

前月に比べ、933人（0.09%）減少した。

自然増減 677人の減少（出生者 434人 死亡者 1,111人）

社会増減 256人の減少（県内への転入者 753人 県外への転出者 1,009人）

この1年間では、14,285人（1.41%）の減少となる。

2 秋田県経済の動き

(1) 製造業の生産動向（鉱工業生産指数月報（平成29年8月分）） 2

秋田県鉱工業生産指数（平成22年=100）

季節調整済指数 98.8 : 前月比 2.5%上昇（2か月ぶりの上昇）

原指数 94.3 : 前年同月比 0.5%低下

全国の鉱工業生産指数（平成22年=100）

季節調整済指数 103.5 : 前月比 2.0%上昇

(2) 雇用・労働情勢（毎月勤労統計調査速報（平成29年8月分）） 3

賃金、労働時間及び雇用の動き〔事業所規模5人以上〕 対前年比（前月比）は指数により算出

現金給与総額 266,066円 : 前月比 13.9%減、前年同月比 7.9%増

総実労働時間 150.5時間 : 前月比 3.7%減、前年同月比 0.1%減

常用雇用指数 101.5（平成27年=100）

: 前月と同水準、前年同月比 0.4%減

(3) 物価動向（消費者物価指数（平成29年8月分）） 4

秋田市消費者物価指数 100.8（平成27年=100）

前月比0.1%上昇、前年同月比は1.3%上昇

全国の消費者物価指数 100.3（平成27年=100）

前月比（季節調整値）0.2%上昇、前年同月比0.7%上昇

(4) 景気動向（景気動向指数（平成29年8月分）） 5

先行指数 87.5 前月を7.4ポイント上回り、3か月振りに上昇

一致指数 108.4 前月を1.8ポイント上回り、2か月振りに上昇

遅行指数 102.7 前月を0.2ポイント下回り、2か月振りに下降

1 秋田県の人口（「秋田県の人口と世帯（月報）（平成29年10月1日現在）」）

- (1) 平成29年10月1日現在の本県の総人口は、995,374人（男 467,657人 女 527,717人）
で、前月に比べ933人（0.09%）減少した。

自然増減 677人の減少（出生者 434人 死亡者 1,111人）

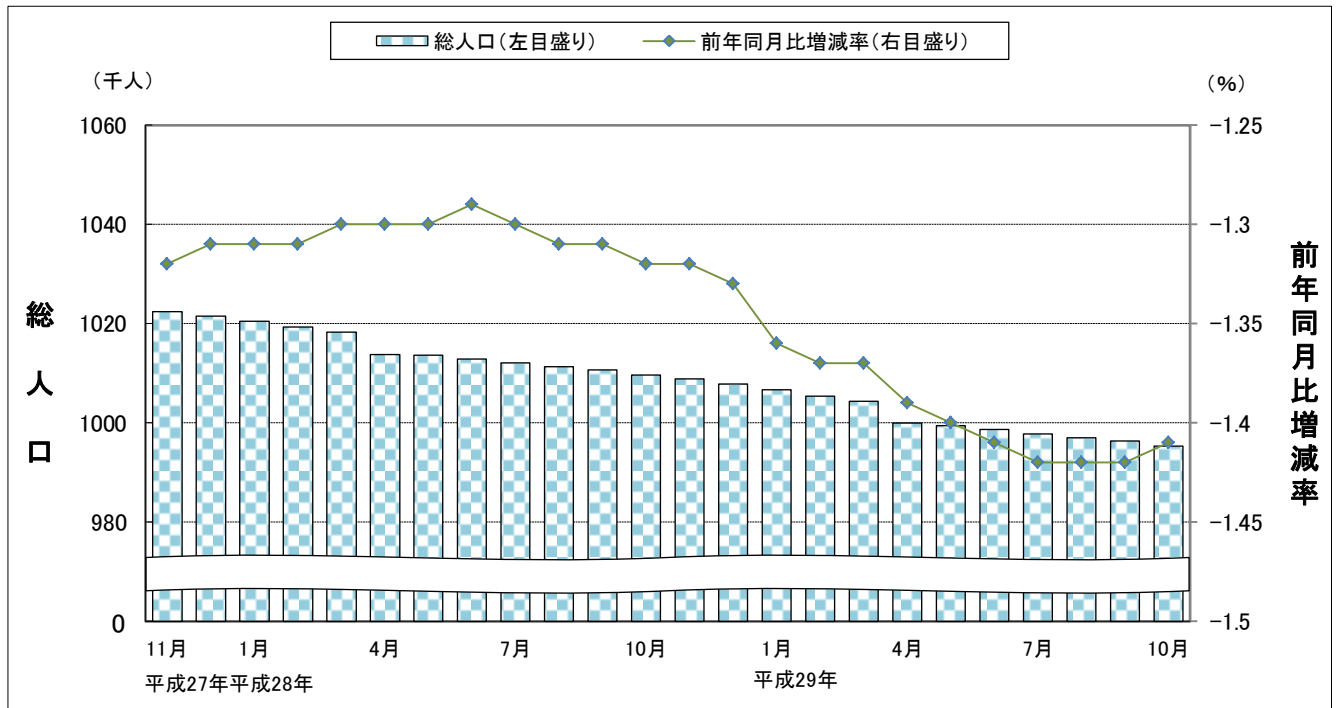
社会増減 256人の減少（県内への転入者 753人 県外への転出者 1,009人）

- (2) この1年間では、14,285人（1.41%）の減少となる。

自然増減 10,032人の減少（出生者 5,461人 死亡者 15,493人）

社会増減 4,253人の減少（県内への転入者 12,498人 県外への転出者 16,751人）

- (3) 世帯数は389,239世帯で、前月に比べ129世帯減少した。



○自然増減と社会増減の推移

年 月	自 然 増 減			社 会 増 減			人口増減 = 自然増減 + 社会増減
	出生 (人)	死亡 (人)	自然増減 (人)	転入 (人)	転出 (人)	社会増減 (人)	
H28.10.1 ~ H29.9.30	5,461	15,493	-10,032	12,498	16,751	-4,253	-14,285
H28.10月 一か月間	488	1,322	-834	878	860	18	-816
11月 "	439	1,324	-885	623	719	-96	-981
12月 "	409	1,435	-1,026	551	770	-219	-1,245
H29.1月 "	492	1,602	-1,110	627	767	-140	-1,250
2月 "	431	1,224	-793	685	949	-264	-1,057
3月 "	444	1,369	-925	2,291	6,040	-3,749	-4,674
4月 "	427	1,288	-861	2,456	1,787	669	-192
5月 "	435	1,299	-864	900	847	53	-811
6月 "	457	1,166	-709	731	937	-206	-915
7月 "	504	1,155	-651	970	1,054	-84	-735
8月 "	501	1,198	-697	1,033	1,012	21	-676
9月 "	434	1,111	-677	753	1,009	-256	-933
過去1年間の累計	5,461	15,493	-10,032	12,498	16,751	-4,253	-14,285

(参考)

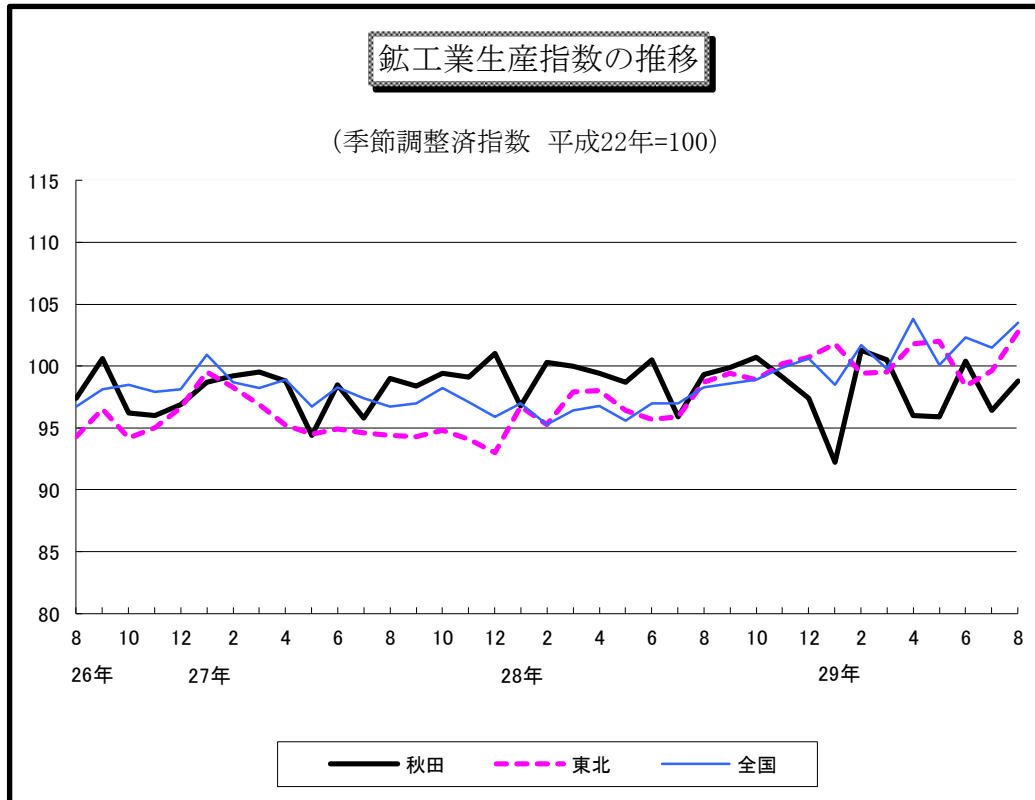
H28.9月 一か月間	460	1,176	-716	841	1,086	-245	-961
-------------	-----	-------	------	-----	-------	------	------

2 秋田県経済の動き

(1)製造業の生産動向(「秋田県鉱工業生産指数月報(平成29年8月分)」)

平成29年8月の秋田県鉱工業生産指数は、季節調整済指数が98.8(前月比2.5%)で、2か月ぶりの上昇であった。また、原指数は94.3で前年同月比▲0.5%の低下となった。

なお、全国の季節調整済指数は103.5で前月比2.0%の上昇となり、東北は102.8で、前月比3.2%の上昇となった。



○主な増減要因(対前月)

業種名	指数値	前月比(%)	寄与率(%)	主な品目名
□上昇した主な業種				
輸送機械工業	120.5	15.8	47.5	駆動伝導操縦装置部品、懸架制動装置部品
電子部品・デバイス工業	97.2	2.9	39.9	パリスタ、液晶素子
金属製品工業	98.5	19.7	26.0	配管工事用附属品、鉄骨
□低下した主な業種				
食料品工業	74.6	▲4.8	▲9.9	清酒、冷凍調理食品
化学工業	106.3	▲3.4	▲2.9	医薬品原薬、硫酸
原油・天然ガス鉱業	76.1	▲5.2	▲2.6	原油

※「寄与率」は、鉱工業総合指数の上昇または低下に対し、各業種のうちどの業種がどれだけ全体に影響与えたかを構成比で示したものである。

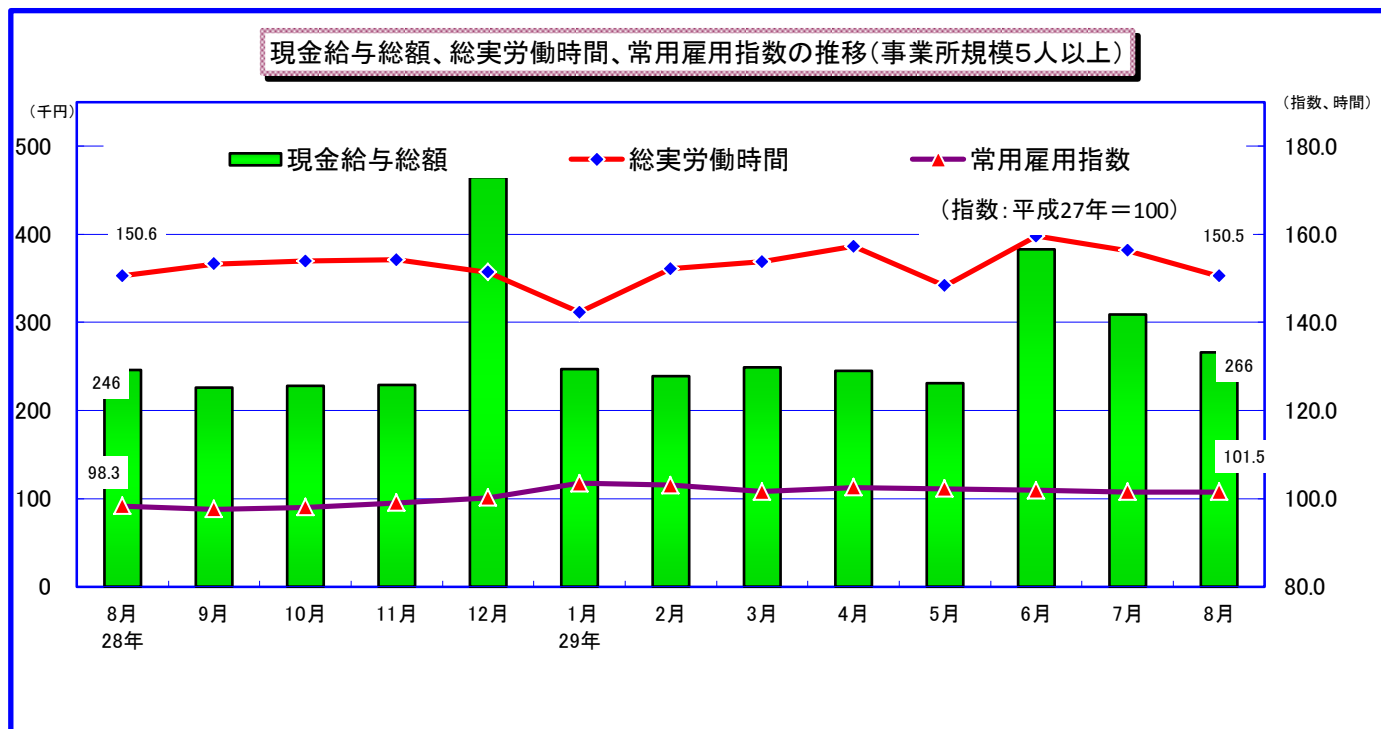
(2) 雇用・労働情勢(「毎月勤労統計調査地方調査結果速報(平成29年8月分)」)

(※賃金、労働時間及び雇用の動き〔事業所規模5人以上〕 対前年比(前月比)は指数により算出)

平成29年8月の現金給与総額は、266,066円となり、前月比13.9%の減、前年同月比7.9%の増となった。

総実労働時間数は150.5時間で、前月比3.7%の減、前年同月比0.1%の減であった。

常用雇用指数は101.5で、前月と同水準、前年同月比0.4%の減となった。



○産業別動向(事業所規模 5人以上)

1 現金給与総額(±5%以上)

増加した主な産業	金額(円)	前年比(%)
学術研究、専門・技術サービス業	366,824	32.1
運輸業、郵便業	304,546	21.5
金融業、保険業	325,032	17.6
減少した主な産業	金額(円)	前年比(%)
複合サービス事業	240,365	▲ 9.4
宿泊業、飲食サービス業	112,470	▲ 8.3

2 総実労働時間(±5%以上)

増加した主な産業	時間	前年比(%)
複合サービス事業	161.0	17.8
金融業、保険業	147.4	6.6
生活関連サービス業、娯楽業	144.9	6.5
減少した主な産業	時間	前年比(%)
学術研究、専門・技術サービス業	146.9	▲ 7.6
教育、学習支援業	125.4	▲ 6.4

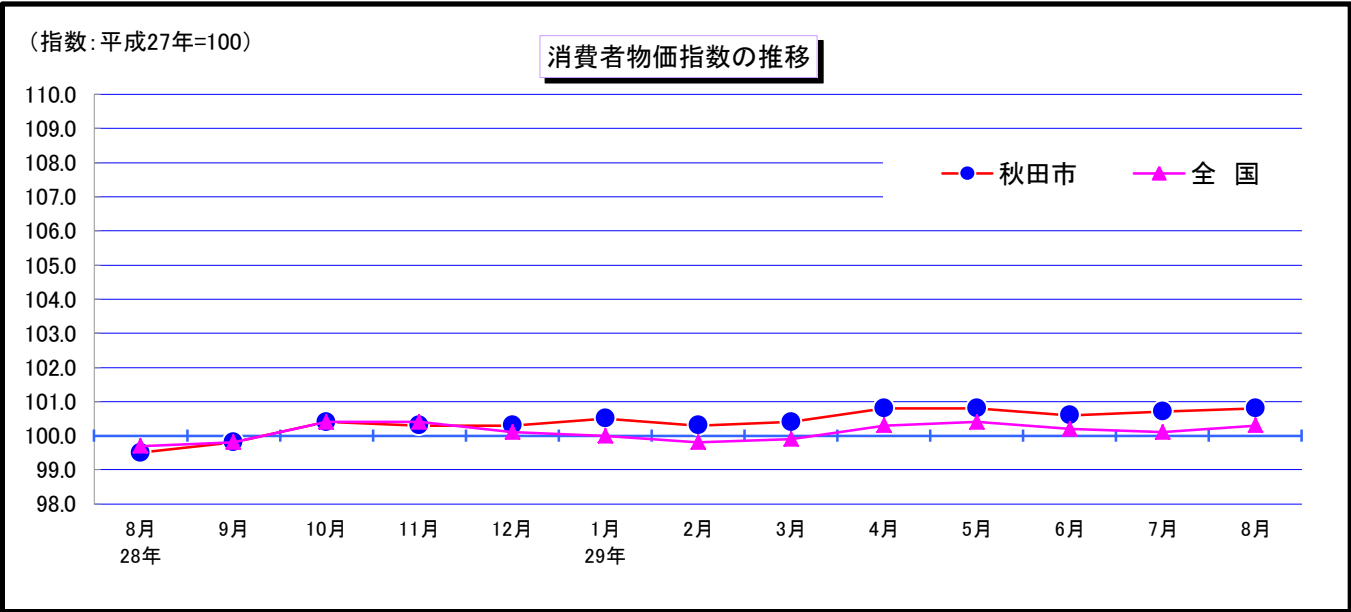
3 常用雇用指数(±5%以上)

増加した主な産業	指数	前年比(%)
サービス業	105.5	11.5
減少した主な産業	指数	前年比(%)
宿泊業、飲食サービス業	96.7	▲ 5.2

(3) 物価動向(「消費者物価指数(平成29年8月分)」)

平成29年8月の秋田市消費者物価指数は100.8(平成27年＝100)となり、前月比0.1%上昇、前年同月比1.3%上昇。

また、全国の消費者物価指数は100.3となり、前月比(季節調整値)0.2%上昇、前年同月比0.7%上昇。



10大費目指数の動き(平成27年=100):秋田市

					食 料			住 居	光 熱・ 水 道	家 具・ 家 事 用 品	被 服 及 び 履 物	保 健 医 療	交 通・ 通 信	教 育	教 養 娯 楽	諸 雑 費
	総 合	生 鮮 食 品 を 除 く 総 合	生 鮮 食 品 及 び エ ネ ル ギー を 除 く 総 合	食 料 (酒 類 を 除 く) 及 び エ ネ ル ギー を 除 く 総 合		生 鮮 食 品	生 鮮 食 品 を 除 く 食 料									
当月指数	100.8	100.9	101.3	100.9	102.6	100.0	103.1	100.2	97.7	97.4	104.7	104.8	98.1	105.9	101.9	100.8
前月比(%)	0.1	0.2	0.1	0.1	0.1	-0.8	0.3	-0.2	0.5	-0.7	-0.3	1.6	-0.4	0.0	0.8	0.5
前年同月比 (%)	1.3	1.3	0.5	0.3	1.7	2.7	1.5	0.1	7.3	0.2	0.4	2.8	0.1	1.5	0.8	-0.3

○総合指数の前年同月比に寄与した主な内訳

〔上昇〕

10大費目	中分類	前年同月比	寄与度
光 熱・水 道	他の光熱	29.5	0.33
食 料	酒類	8.1	0.14
保 健 医 療	保健医療サービス	3.3	0.07

〔下落〕

10大費目	中分類	前年同月比	寄与度
諸 雑 費	身の回り用品	▲5.8	▲0.03

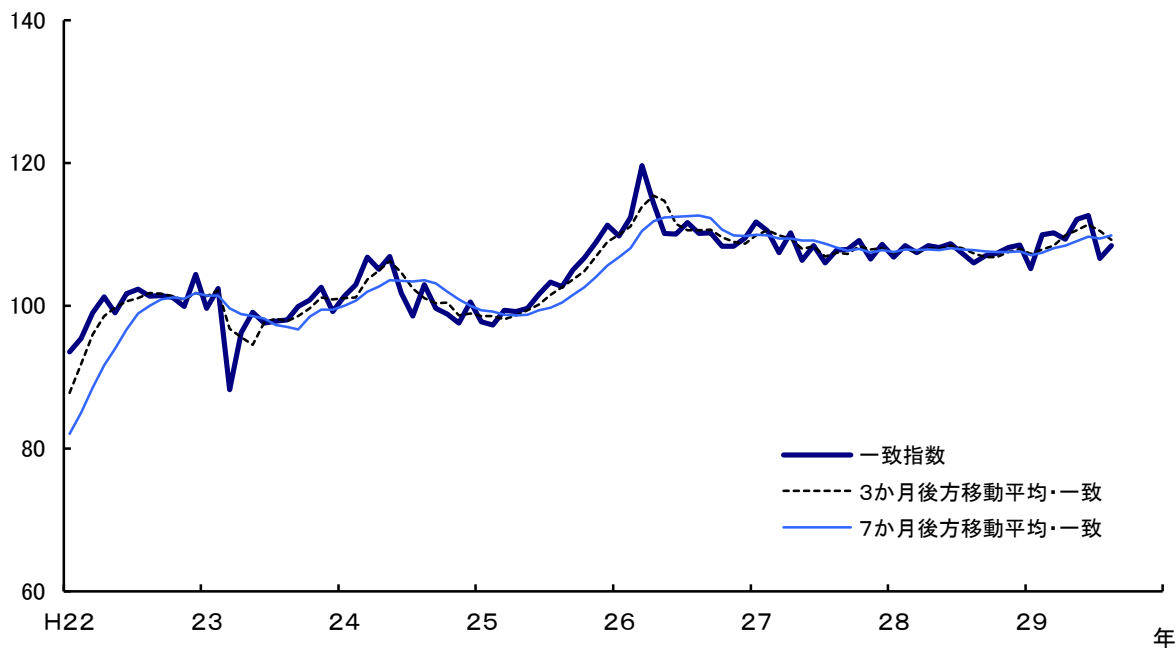
※寄与度とは、その費目が総合指数の変化率のうち何ポイント寄与したかを示すものである。

(4) 景気動向 (「秋田県景気動向指数(平成29年8月分)」)

先行指数 87.5 前月を7.4ポイント上回り、3か月振りに上昇した。
 一致指数 108.4 前月を1.8ポイント上回り、2か月振りに上昇した。
 遅行指数 102.7 前月を0.2ポイント下回り、2か月振りに下降した。

一致指数のグラフ

(平成22年=100)



○一致指数採用指標の前月比較

指 標 名	前月	今月	対前月増減	寄与度
有効求人倍率(倍)	1.34	1.34	0.00	-0.40
雇用保険受給者実人員(逆)(%)	-7.0	-4.9	2.10	-0.33
所定外労働時間指数(27年=100)	97.6	99.1	1.54%	0.25
鉱工業生産指数(22年=100)	96.4	98.8	2.49%	0.63
生産財生産指数(22年=100)	109.0	111.2	2.02%	0.38
百貨店・スーパー販売額(%)	-0.8	-1.2	-0.40	-0.08
投資財生産指数(22年=100)	85.5	87.8	2.69%	0.34
建築着工床面積(千㎡)	52	68	30.77%	1.04
CI 一致指数(全体値)	106.6	108.4	1.8	

景況ダイジェスト（平成29年10月）

対象	資料名 公表機関 対象期間等 公表日	内 容											
県内	県内金融経済概況 日本銀行秋田支店 平成29年10月16日公表	〔概況〕県内景気は、緩やかに回復している。 ・生産は、横ばい圏内の動きとなっている。 ・需要面をみると、公共投資は、持ち直している。住宅投資は、堅調に推移している。設備投資は、大幅に増加した前年の反動から減少するものの、高めの水準を維持している。個人消費は、堅調に推移している。 ・雇用・所得環境は、改善している。 ・消費者物価指数（生鮮食品を除く総合）は、前年を上回った。											
	県内経済動向調査結果 企業活性化・雇用緊急対策本部 （産業政策課） 平成29年8月分 平成29年10月10日公表	〔概況〕県内経済は、個人消費は全体としては緩やかな持ち直しの動きがみられ、製造業はやや強含みの動きとなっており、雇用は高水準で推移している。 製 造 業：電気機械が緩やかに持ち直しているほか、木材・木製品が全体としては増加傾向にあり、やや強含みの動きとなっている。 建 設 業：公共投資は2か月ぶりに前年同月を下回った。 小 売 業：全体としては緩やかな持ち直しの動きとなっている。 サービス業：全体としては横ばいの動きとなっている。 〔全業種〕DI値を前月と比較すると、3か月前との業況比較は11.3から12.0、現在の資金繰りは▲6.3から▲5.7、3か月先の業況見通しは、3.6から▲9.5となっている。											
	あきた経済 一般財団法人秋田経済研究所 平成29年8月分 平成29年10月号	〔概況〕県内経済は、持ち直しの動きが続いている。 機械金属の生産は堅調に推移しているほか、電子部品、木材も持ち直しの動きが続いている。建設は、住宅着工が前年を上回ったほか、公共工事も堅調に推移している。個人消費は弱いながらも持ち直しの動きとなっている。雇用情勢は改善基調にあるが、一部業種で人手不足感の強い状況が続いている。											
	HOKUTO経済調査レポート 北都銀行 平成29年11月号	〔県内経済概況〕改善テンポは依然緩やかながら、持ち直しの動きが続く県内経済 最近の県内経済は、足元の住宅投資は依然減少基調にあるものの、公共投資は一進一退の状況ながら基調としては増加傾向にあります。また、個人消費は一部に弱い動きが見られますが、全体としては持ち直し基調を維持しています。この間、生産活動は機械金属や電子部品の増加を受けて上向いており、雇用情勢は総じてみれば改善傾向を持続するなど、県内経済は改善テンポは依然緩やかながら、持ち直しの動きが続いています。											
	秋田県内の一般職業 紹介状況について 秋田労働局職業安定部 平成29年8月分 平成29年9月29日公表	〔概況〕平成29年8月の一般職業紹介状況をみると、有効求人倍率（季節調整値）は1.34倍と、前月と同水準となった。（全国平均は1.52倍、前月と同水準） 有効求人数（季節調整値）は前月に比べて1.0%増加、有効求職者数（同）は1.2%増加。 雇用保険受給者実人員は、前年同月に比べ4.9%減少となり、同比51か月連続で減少した。 県内の雇用失業情勢は、改善の動きが続いている。 ① 新規求人数は9,738人、前年同月比20.9%（1,683人）増加。同比2か月ぶりに増加。 ② 有効求人数は23,547人、前年同月比7.7%（1,674人）増加。同比44か月連続で増加した。 ③ 新規求職者数は4,067人、前年同月比1.3%（51人）減少。同比49か月ぶりで増加した。 ④ 有効求職者数は16,270人、前年同月比4.2%（715人）減少。同比92か月連続で減少した。											
	秋田県企業倒産状況 （株）東京商工リサーチ秋田支店 平成29年9月度 平成29年10月3日公表	（負債額1,000万円以上の企業倒産） <table><tr><td>倒産件数</td><td>4件</td><td>負債総額</td><td>7億2,100万円</td></tr><tr><td>前年同月比</td><td>+33.33%</td><td></td><td>+43.33%</td></tr><tr><td>前年同月</td><td>3件</td><td></td><td>5億300万円</td></tr></table> 件数は前年同月から1件増、負債総額は前年同月比で43.3%増	倒産件数	4件	負債総額	7億2,100万円	前年同月比	+33.33%		+43.33%	前年同月	3件	
倒産件数	4件	負債総額	7億2,100万円										
前年同月比	+33.33%		+43.33%										
前年同月	3件		5億300万円										

県内	情報収集結果 秋田県中小企業団体中央会 平成29年9月分 平成29年10月13日公表	[業界判断指数]単位：％P						業界全体	製造業	非製造業	売上高	収益状況
		8月分D I						-20.0	-25.0	-16.7	-23.7	-23.7
		9月分D I						-22.5	-21.8	-22.9	-21.2	-23.8
		比較増減						-2.5	3.2	-6.2	2.4	-0.1
	秋田県内の公共工事動向 東日本建設業保証株式会社 秋田支店 平成29年9月分 平成29年10月12日公表	対前年度増減率 件数149件減少、請負金額10.7%減 (金額単位：百万円)										
	発注者	区分	平成28年9月		平成29年9月		対前年度伸率(%)					
			件数	請負金額	件数	請負金額	件数	請負金額				
	国	50	2,668	33	3,886	-34.0	45.6					
	独立行政法人等	1	2	3	134	200.0	5,584.3					
	県	274	7,232	161	4,633	-41.2	-35.9					
	市町村	131	3,894	112	3,511	-14.5	-9.9					
	地方公社	0	0	0	0	-	-					
	その他※	5	288	3	417	-40.0	44.9					
	合 計	461	14,086	312	12,582	-32.3	-10.7					
	※「その他」発注者：国、独立行政法人等、地方公共団体を除く国土交通大臣が指定する指定公共工事発注者											
	県内経済情勢報告 財務省東北財務局 秋田財務事務所 平成29年10月24日公表	項 目	内 容									
		総括判断	県内経済は、緩やかに持ち直しつつある									
		個人消費	緩やかに持ち直しつつある									
		住宅建設	前年を下回っている									
設備投資		29年度は減少見通し										
公共事業		前年度を下回っている										
生産活動		緩やかに持ち直しつつある										
企業収益		29年度は減益見通し										
企業の景況感		「上昇」超に転じている										
雇用情勢		改善している										
秋田県内全国企業短期経済観測調査結果 日本銀行秋田支店 2017年9月調査 平成29年10月2日公表	単位：％ポイント	2017年 6月	2017年 9月	変 化 幅	2017年 12月(予測)	変 化 幅						
全 産 業	4	14	10	12	-2							
製 造 業	0	8	8	15	7							
非製造業	6	18	12	10	-8							
東北	管内の経済動向 東北経済産業局 平成29年8月分 平成29年10月12日公表	全体の動向：一部に弱い動きがみられるものの、緩やかに持ち直している 鉱工業生産：持ち直しの動きとなっている 個人消費：足踏み状態となっている 住宅着工：高水準の中、ここのところ弱含んでいる 公共投資：復興事業により引き続き高水準にある 設備投資：緩やかに持ち直している 雇 用：改善している 企業倒産：小康状態が続いている										
	管内経済情勢報告 財務省東北財務局 平成29年10月24日公表	項 目	内 容									
		総括判断	管内経済は、回復しつつある									
		個人消費	回復しつつある									
		住宅建設	前年を下回っている									
		設備投資	29年度は増加見通し									
		公共事業	高水準となっている									
		生産活動	緩やかに持ち直している									
		企業収益	29年度は増益見通し									
		企業の景況感	「下降」超幅が縮小									
雇用情勢	改善している											
全国	月例経済報告 内閣府 平成29年10月 平成29年10月25日公表	景気は、緩やかな回復基調が続いている。 ・個人消費は、緩やかに持ち直している。 ・設備投資は、持ち直している。 ・輸出は、持ち直している。 ・生産は、持ち直している。 ・企業収益は、改善している。企業の業況判断は、改善している。 ・雇用情勢は、改善している。 ・消費者物価は、横ばいとなっている。 先行きについては、雇用・所得環境の改善が続くなかで、各種政策の効果もあって、緩やかに回復していくことが期待される。ただし、海外経済の不確実性や金融資本市場の変動の影響に留意する必要がある。										
	企業短期経済観測調査結果 日本銀行調査統計局 9月調査分 平成29年10月2日公表	[業況判断D I] 単位：％ポイント	〈大企業〉		〈中小企業〉		全規模合計					
		製造業	非製造業	製造業	非製造業	全産業						
2017 / 6月	17	23	7	7	12							
2017 / 9月	22	23	10	8	15							
変 化 幅	5	0	3	1	3							